昭和56年９月20日発行

市制施行 30 心のふれあう農工都市

◆市民憲章◆
会合の時間を正しく守りましょう
公共の物をたいせつにしましょう
教養を高め、ひろく人材を育てましょう
積極進取の意気をもって働きましょう
（昭和41年４月１日制定）

広報 ひゅうが

56/9
（No.：317）

発行所：日向市本町10番５号　日向市役所総務課　☎②2111

九月十五日は「敬老の日」でした。おとしよりは、これまで長年にわたって社会に貢献してこられました。長寿を心からお祝いするとともに、こんごも今日までつちかってきた知識と経験を社会に役だてていただきたいものです。

いま、百人のうち九人が六十五歳以上のおとしより――これが三十四年後の昭和九十年には十八人と二倍に増えると予測されます。

三十四年後に六十五歳になる人、つまりおとしよりの仲間入りをするのは、いま働き盛りの三十一歳。よく言われる高齢者問題というのは、なにもおとしよりだけの問題ではなく、若い人たちのやがて直面しなければならないテーマであり、そして社会全体の課題でもあるのです。

ところで市内では「敬老の日」の前後に、おとしよりのためのいろいろな催しが行われました。九月七日には市内で美容室を経営する三浦寿一郎さんら十人が、富高広見にある特別養護老人ホーム・永寿園を訪れ、三十五人のおばあちゃんらの髪をきれいにカットしました。三浦さんたちの心のこもったプレゼントに、同園最高齢者の河野ツエさん（90歳）は「とてもうれしいです。気分がさっぱりしました」と大喜びでした。

能力を引き出す

心身に障害を持つ人が「働きたい」という意欲を持ちながらも、仕事につく機会が与えられない――心身障害者の雇用状況は、必ずしもじゅうぶんとはいえません。

事業主をはじめ、社会一般の心身障害者に対する理解がじゅうぶんでないこともあり、ともすれば障害をもつ人の雇用に消極的な傾向がみられます。

しかし、心身障害者がその適性と能力に応じた職業についた場合、一般の人に勝るとも劣らない業績をあげています。

一つの例を紹介しましょう。

中学三年生のとき交通事故にあい、不幸にも下半身が不自由となり、それ以来、車いすの生活を送っているK子さん（23歳）は、現在、ある保険会社の事務センターに勤めています。

和文タイピストとして契約書類などを作る一方、伝票の整理、電話の応対とテキパキ仕事をこなし、充実した職場生活を送っています。「仕事は多ければ多いほどいい。それだけ会社に期待されているのだから」と、K子さんは言います。

一方、K子さんの上司はK子さんの能力を高く評価し、タイピストとしてだけでなく、将来はコンピューターのプログラマーとして働いてもらいたいと考えているとのことです。

ここには、障害をもつ人に対する誤解や偏見がないばかりか、企業はK子さんの能力と可能性をじゅうぶん引き出し、K子さんは働く意欲と誠実さでそれにこたえています。

K子さんは「よい職場」を見つけ、企業は「よい人材」を得た――心身障害者の雇用問題を考える上で、このケースはわたしたちに一つのヒントを投げかけているといえるのではないでしょうか。

ことしは「国際障害者年」、そして九月は「心身障害者雇用促進月間」です。

わたしたち一人一人が、障害ということを意識しない社会づくりを進めるために努力したいものです。

人口ごあんない

（昭和56年９月１日現在）

男	28,219人	18人減
女	30,932人	40人増
計	59,151人	22人増
世帯数	18,561	13増

・２ページ…宮本市長、原発など視察
・３ページ…サンズを本格販売
・４ページ…来年春にも有人実験
・５ページ…秋の全国交通安全運動
・６ページ…おしらせ

○…とじて保存しておきましょう…○

宮本市長 原発関連施設を視察
議会の要望もあって

動燃人形峠事業所のウラン濃縮施設棟

岡山県・生末敏夫津山市長と会談

ことし七月、第九代日向市長に就任した宮本増雄市長は、九月六日から十日までの四泊五日の日程で、香川県仁尾町の大陽熱パイロットプラント、福井県敦賀市の敦賀原発や岡山県上斉原村の動燃人形峠事業所など、〝エネルギー施設、原子力施設の視察とそれぞれの行政当局や地元住民との意見交換を行いました。全行程約二千五百キロの視察を終えた宮本市長は九月十四日午後記者会見し、視察、調査の報告と感想を述べる中で、旭化成のウラン濃縮研究施設建設について、従来どおりの見解に変わりがないことを強調しました。

津山市長とも会談
誘致運動のねらいを聴く

今回の視察、調査は先の定例市議会で「市長として関連施設を実際に見て認識を持ってもらいたい」という、議会の一般質問の中での要望もあって計画されましたが、宮本市長はこれに〝民情調査〟の意味も含め、各施設視察とともに地元の住民を宿舎に招いて懇談したり、実際に足で歩いて住民の声を聴くなど、施設を取り巻く周辺環境の調査にも重点を置きました。

この視察には、九月一日付でウラン問題担当になった甲斐誠二企画主幹も同行。視察はまず、香川県仁尾町で開かれている仁尾太陽博（太陽熱パイロットプラント）を見学、九月八日には日本海側の福井県敦賀市の日本原子力発電敦賀発電所（町田明所長）へ行き、ことし春に起こった原発事故の経過や原因、影響などを聴いたあと、市内の住民らと意見交換。その後ウラン濃縮施設の誘致運動（一市十四町村の広域圏による）を進めている岡山県津山市へ。夜半に宿舎に着いた市長は、招いていた地元住民と懇談し、ウラン濃縮施設誘致について住民の立場からの意見を聴きました。

九月九日には津山市役所を訪れ、生末敏夫市長の誘致運動のねらいとその背景などの説明に耳を傾けました。その後、同市から約五十キロ離れた上斎原村の動力炉・核燃料開発事業団人形峠事業所で、福岡勇雄副所長らからウラン濃縮施設の説明などを受けました。ここでも、同地域を流れる吉井川流域の住民に直接会って、河川の水質や誘致運動などの問題について実情を調査。

また、山口県豊北町には市長に同行した甲斐主幹が出向き、町当局、町議会、漁協などの人たちと意見の交換を行い、四泊五日の日程を終えました。

◇　◇

各地での説明、意見交換の中で、おもなものをご紹介します。

――。「どんなに注意しても事故が一〇〇パーセント起こらないとは言い切れない」（敦賀原発・町田明所長）「安全性に問題はない。厳重な監視体制をとっている。原発なら困るがウラン濃縮施設だという安心感」（生末敏夫津山市長）「厳しい環境対策の中で地域に及ぼす事故は全くない」（動燃・福岡勇雄副所長）「原発ができれば温排水などで漁場はメチャクチャになる。放射能汚染による死の町にしたくない。子ども、孫のため原発は作らせない」（豊北町・和久漁業組合平田平蔵組合長）

従来の見解を強調
地形上にも問題あり

視察後の感想

視察を終えた宮本市長は九月十四日記者会見し、今回の視察、調査の報告と感想を「河川や海への目に見えない汚染が怖い。大きな事故を起こした敦賀原発や人形峠のウラン濃縮施設にしても町から離れた所に建設されている。日向市の場合は工業地帯のど真ん中、民家と隣接しての建設であり、本市の場合、とくに地形上からも幾多の問題がある。許容量の問題もあるが、放射能を完全にストップさせることができないことは各施設とも認め、住民も何らかの不安感を抱いている。放射能対策はまだ確立されていない」などと述べ、旭化成のウラン濃縮研究施設建設に対し、従来どおりの見解に変わりがないことを強調しました。

原子炉を背に町田所長（右から３人目）の説明を聞く市長（敦賀原発）

国保運営協 12人に委嘱状

日向市の国民健康保険運営協議会の委員に、つぎのかたがたが選任され九月一日市長から委嘱状が交付されました。

国民健康保険運営協議会は、市の国民健康保険事業が適正、そして円滑に運営されるように市が諮問した事項を審議する機関です。

委員は被保険者の代表、療育担当者の代表、公益代表からそれぞれ四人を選び十二人で構成されています。

同協議会は会長に瀬山義信氏、会長代理に黒木正男氏を互選しました。委員はつぎのとおりです。（敬称略、順不同）

▽福田実（財光寺）▽佐藤政美（塩見）▽渡辺茂雄（細島）▽野地喜代士（平岩）▽沼田俊男（原町）▽黒木俊男（細島）▽斉藤隆尋（江良町）▽福森正郎（本町）▽黒木敏雄（日知屋）▽瀬山義信（日知屋）▽米良安昭（富高）▽黒木正男（江良町）

歳時記 運動会

運動会というとだれでも思い出すのが、子どものころ、秋の陽（ひ）をいっぱいに浴びて力いっぱい走った風景。春の遠足とともに秋の運動会は、小、中学校時代の楽しい思い出です。

――ところが、ものの本を調べたら、意外なことに運動会の起こりは、大学や軍の学校。十九世紀の中ごろ、イギリスの陸軍士官学校で行われたのが、運動会のそもそもの始まりとされているようです。日本では、明治七年に東京築地の海軍兵学寮で行われた「競闘遊戯会」が始まりといわれます。

また明治十一年には、「少年よ大志を抱け」のクラーク博士で有名な札幌農学校で、遊戯会が開かれ、二人三脚、綱引きなどのほかに農学校らしく豚追い、芋拾いなどもあったようです。

その後、小学校で広く運動会が行われるようになったのは、日清戦争（明治二十七年～二十八年）のころからだといわれます。

ところで、小、中学校の運動会の人気種目といえば、かっては勇壮な騎馬戦や棒倒しでした。それが、戦後の一時期、こうした戦闘的な競技は中止となり、その後復活したものの、けがをしてはと尻ごみする風潮が強く、いわゆる教育ママたちの評判も悪いので、いまはほとんどみかけなくなりました。

その一方では、徒競争は相変わらずの人気。こればかりは偏差値なんかに関係ない勝負で、日ごろの優等生が落ちこぼれたりする一面も見られます。

ところで、運動会でのお弁当の一番人気は、やはりおむすび。やっぱり日本人は、底力を出すには米飯が何よりのようです。

サンズを本格販売

会成 興 振結

日向の特産物として

独特の香りと風味を持ち、料理の薬味用として使われる日向市特産のヘベズ（平兵衛柞）を「サンズ」と改名し、本格的に売り出す計画が生産農家などを中心に進んでいます。

ユズやカボスに似たこの「サンズ」は自然の酸味と清涼感のある香りが持ち味なのは、みなさんご承知のとおりです。料理の薬味として用途は広いものの「ヘベズ」という名が、およそ食事にふさわしくなく、それが災いしてか市外では延岡、宮崎両市場に出荷している程度でした。

このため、ことし三月に生産農家が振興会（黒木三郎会長、二十五戸）を結成し、県と市、日向農協も果樹新産地育成緊急対策事業として、五十六年度から五十八年度まで合わせて三百七十五万円を助成することにしています。また、栽培面積も五㌶程度で特産と言いながらもパッとしない状態。そこで、五十七年度から五か年計画で現在の約六倍の三十三㌶を目指し、将来は隣りの東郷町にも拡大しようという構想を立てています。これにより出荷先も県内各地はもちろん、北九州から関西市場にまで拡大していくことにしています。出荷本番はこれから。「サンズ」の名を全国に広めるためにも、私たちが「サンズ」を知る必要があります。

そこで「サンズ（平兵衛柞）」の由来や料理の際の利用方法などをご紹介します。

「サンズ」を私たちの力で日向市の特産物に！

サンズの由来

日向市特産のサンズは江戸時代、富高村の平兵衛という人の庭先で最初に栽培された柞みかんです。

その後、富高、塩見の農家で自家栽培され、嫁ぐわが娘に苗木を持たせたことから広まったといわれています。今でも、農家の庭には古木があり、家庭の食生活には欠かせないものになっており、重宝がられています。

このサンズの果汁には独特の風味があり、人の心の郷愁をそそる日向の味といえましょう。

PRも積極的に（十五夜祭から）

サンズを生かした料理〝春夏秋冬〟

春

▲カツオのたたき

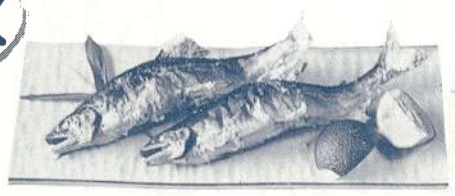
生きのよいカツオを使った料理（たたき、さしみなど）にはピッタリです。

夏

▲冷やしソーメン

めんつゆの中に、おろし金で皮ごとすって入れてください。最高の薬味です。

秋



▲イワシの尾引き

マイワシでもかまいませんがウルメイワシが最もよいとされています。包丁などはいっさい使わず、手のみで料理するのがコツ。内臓、頭をとり、骨をはずして皮をはいでそのままサンズとしょうゆをかけて食べます。

イワシには、いろいろな料理法がありますが、尾引き（さしみ）や焼いたものにサンズの生酢をたっぷり使えば、いっそうおいしさが増すと食通にはモテモテです。

▲アユの塩焼き、せごし

アユは昔から香魚ともいわれにおいのよい魚です。その香りをサンズのまろやかな風味がつつみ、おいしさは格別。９月から11月はアユの最もおいしい季節です。

冬

◀鍋 もの

これから先、秋から冬にかけて鍋ものがしゅん。この鍋ものに欠かせないのがサンズです。風味をたっぷり味わってください。

このように「サンズ」は四季を通じていろいろな料理に生かすことができます。あなたも、ご自分のアイデアでくふうしてみませんか。

取り締まりを強化

最近、一般市民などから申告や苦情の多い電波障害のうち、とりわけ無線機を不法に設置して運用する無線局（ハイパワー市民ラジオ）によるものが急増し、テレビ、ラジオなどの受信妨害だけでなく、船舶、航空機などの緊急通信にも妨害を与えるなど、大きな社会問題となっています。

郵政省では、これらハイパワー市民ラジオの撲滅をはかる目的から、去る五月二十三日、電波法の一部を改正し、従来、無線局の免許を受けないで運用したもの（運用中の現場を摘発されなければ罰せられなかったもの）が、無線機を無免許で設置しただけで罰せられるようになりました。（昭和五十八年一月一日施行）

ことしの電波監理局の取り締まり方針によりますと、管内の警察署、海上保安署などを連携して特別監視を行い、不法無線局はもちろんですが、とくに移動体に設置したハイパワー市民ラジオの摘発に重点を置き、取り締まりを強化することになりました。

九州電波障害妨止協議会、県電波障害防止協議会（ＮＨＫ宮崎放送局内）としても、これら不法無線局による電波障害の未然防止と解決のために積極的に取り組むことにしています。

電波障害に関するご相談は、県電波障害防止協議会（☎〇九八五―二九―一二三一）へ。

９月・10月の納税

９月…固定資産税（３期）
　　水利地益税（１期）

10月…市県民税（３期）
　　国民健康保険税（３期）

完納で明るいまちづくり

来年春にも有人実験
11月から2両編成で
リニアモーターカー

▶MLU001－1号車

時速五百キロで走る二十一世紀の〝超高速鉄道〟――リニアモーターカーの開発を進めている国鉄は、リニア実用化実験の最大の関門である有人走行実験を来年春以降に行うことを決めました。

これは、八〇年代の実用化へ向けて走行実験を進めている浮上式鉄道実験センター（石黒吉男所長）が八月二十八日明らかにしたものです。

有人実験までのスケジュールとして、ことし十一月から二両編成による走行実験を開始、五七年度中に有人実験を行い、初の目標の三両連結実験へ引継ぐ方針です。国鉄では五十二年夏、同センターで走行実験開始以来、五年間で有人実験にぎつけたことになり、実用化はいっそう現実味をおびてきたものになりました。

リニア実験は五十二年七月から「ML500」実験車を使った走行実験を開始。二年半後の五十四年十二月に、浮上走行による世界初の時速五百十七キロの最高速度を達成しました。同実験の成功で、高速性と浮上能力が証明されたことから五十五年十一月、乗客スペースのある新型実験車「MLU001－1」で車内振動（乗り心地）や浮上走行の確認実験を続けてきました。

「MLU001－1」での実験では、新幹線の走行時に乗客が感じる振動、加速に対する乗り心地は、計器計測で人間が不快さを感じないことが証明されたこと。また、リニアの心臓部である新型超伝導磁石、車載冷凍装置の小型軽量化にも成功、乗客用スペースがじゅうぶん確保できたこと、などで有人実験開始に踏み切ることができたと同センターでは話しています。

同センターの計画では二両目実験車のMLU001－3号車を十月十日に搬入、十一月から連結実験を開始。三両目のMLU001－2号車は五十七年秋に搬入予定で、有人実験については五十七年度内としています。有人実験の乗車対象者は実験関係者のほか、将来は一部民間人の試乗も検討されているようです。

冒険の森 全ポイント完成
20周年で市へ寄贈

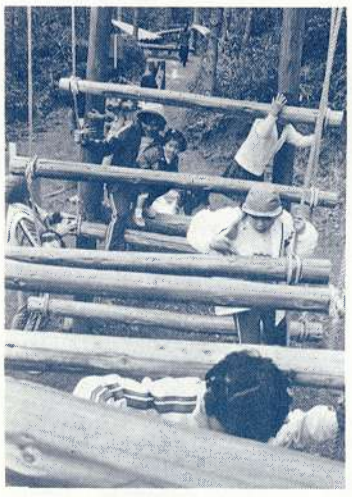
日向青年会議所

市内櫛の山公園内に、五十三年からフィールドアスレチックスを取り入れた「冒険の森」作りを進めていた日向青年会議所（夏井兌輔理事長、五十六人）の建設作業がこのほど終わり、四年ごしで三十ポイントの〝手作り〟の全遊具が完成しました。

冒険の森は、五十七年に創立二十周年を迎える同会議所が、記念事業の一つとして「自然の中で子どもの冒険心や判断力を養える場」にするため五十三年から建設に着手したものです。冒険の森は標高九十六㍍の櫛の山の斜面約六千平方㍍に作られており、市有地を使用しています。

これまで、日曜日ごとに会員が出向き、整地作業からポイント建設まで独自にやりとげ、一年目に五ポイント、二年目に十ポイント、三年目の昨年は六ポイントが完成。それぞれの完成のつど一般公開をし、チビッ子や家族ぐるみのレクリエーションの場として人気を集めています。ことしは残りの九ポイントの建設にかかり「丸太すべり」「アップダウン」「ロープウェー」など豊富な遊具が完成しました。

建設費用約四百五十万円は会費などでまかなわれましたが、「業者に頼めば一千万円くらいはかかるでしょう。労力だけでも延べ千人以上になります」とある会員は話していました。同会議所では、来年の二十周年記念式典で、市に冒険の森を寄贈することにしており、年内には各ポイントの〝愛称〟を市民のみなさんから募集することにしています。


ことし2月の親子ラリー大会

国際障害者年

心のかよう福祉を

今回は、日ごろみなさんから問い合わせの多い「特別児童扶養手当」と「福祉手当」について、その制度のあらましをご説明します。

特別児童扶養手当と 福祉手当

〈特別児童扶養手当〉

つぎの障害児を養育する父もしくは母、または父母にかわって障害児を養育している人に支給されます。

○二十歳未満で心身に重度、または中程度の障害がある児童

重度の障害とは――

①身体障害の場合……身体障害者手帳一、二級程度

②精神薄弱の場合……おおむね知能指数（I・Q）三五以下の程度（療育手帳「A」程度）

③その他の障害の場合……①②の障害と同程度と認められるもの

中程度の障害とは――

①身体障害の場合……おおむね身体障害者手帳三、四級程度

②精神薄弱の場合……おおむね知能指数（I・Q）三五－五〇程度（療育手帳「B－1」程度）

③その他の障害の場合……①②の障害と同程度と認められるもの。

特別児童扶養手当の額は――

重度の障害児一人につき、月額三万六千円

中程度の障害児一人につき、月額二万四千円

〈福祉手当〉

精神または身体に重度の障害があるため、日常生活において介護を必要とする程度の状態にある人に支給されます。

支給対象者の障害程度は――

①身体障害の場合……身体障害者手帳一級および二級の一部

②精神薄弱の場合……おおむね知能指数（I・Q）二〇以下の程度

③その他精神障害、内部障害や心身の重複障害などは、①②の障害と同程度と認められるもの

必要条件は――

①心身の障害を支給事由とする公的年金などの給付を受けていないこと

②身体障害者療護施設など、これに類する社会福祉施設などに入所していないこと

福祉手当の額は、月額一万円

お問い合わせやご相談は、市福祉事務所（☎内線五六八）へどうぞ。

〈完全参加と平等〉

非行防止を考える作文……②

洗たくや炊事には必ずせっけんを使いましょう。

少年の非行防止はどのようにすればできるか、をテーマとした優秀作文三編を先月号からご紹介していますが、今回は、松本つた子さんの作文「非行」です。

◇　◇

「非行」

日向中学校　松本つた子

私は、「どうして非行がおこるんだろう」とよく思います。「非行」というのは、よく知らないけれど「万引き」や「無免許運転」、「シンナー遊び」などの事を「非行」というのではないかと思います。

私も「一度でいいからバイクにのってみたいな」とか、「シンナーってどうなるんだろう」なんて、興味をもったこともあります。でも実際に「してみよう」とは思いません。もし今私が非行を おこしてしまったら「私がこんな事をしているって知ったお母さん、悲しむだろうな」ということを思います。

今非行をおこして警察に補導された人は心の中できっと反省していると思います。そして「こんな事 しなければよかった」と反省するでしょう。

それよりも先に非行をおこさなければよいのです。人よりも少しつっぱってみたり、ほしい物があって買いたいけれどお金が足りないから万引きをしてしまいました……。そんな事をしてなにがおもしろいんだろうと思います。それにそんな事では非行をおこした理由にはなりません。だから最初から非行をおこさなければよいのです。

もし今、私が、非行をおこしそうになったら、「私は今、なにを しようとしているんだろう」と考えて「こんな事をしたら、自分だけの責任だけではどうにもならないんだ。それになによりも人に 迷惑を かけるんだ。」という事をよく考えて行動すると思います。「考えた事は考えたけれど、非行をおこしてしまった。」そんな事になったら、自分自身を反省して、もう一度考え直すのが本当です。

でも一番大切なのは「自分で自分の〝心のブレーキ〟をかけること」だと思います。私は「非行をおこす人は きっと 弱い人だ」と思います。「自分で自分の心のブレーキもかけられない弱い人間だ。」そう思います。だから自分で自分のことをよく考えて「非行をおこすのはバカらしい。自分の損だ」と一人一人が思って、行動すれば非行も減ると私は思います。

防犯に心がけよう

ことしも十月十一日から十月二十一日までの十日間、全国いっせいに「全国防犯運動」が行われます。ことしの運動の重点目標は、①侵入 盗犯の 防止 ②自転車盗の防止の二つがあげられています。

日向警察署管内でも最近「空き巣ねらい」「自転車・オートバイ盗」「車上ねらい」など盗難事件が発生し、数多くの人が被害にあっています。

このような犯罪の被害者にならないためにも自衛意識を高め身のまわりを点検して防犯に心がけましょう。

川や海を汚す大きな原因は合成洗剤です。

9月21日～9月30日 “秋の全国交通安全運動

交通ルールとマナーを守ろう

ことしも九月二十一日から三十日までの十日間、全国いっせいに秋の全国交通安全運動が繰り広げられます。

ことしの運動の重点目標は―①歩行者、とくにおとしよりと子どもの交通事故防止 ②自転車の安全利用の促進 ③無謀運転と暴走族の追放 ④シートベルト、ヘルメットの着用および二輪車 前照燈運動の 昼間点燈推進――の四つがあげられています。

正しい交通ルールと交通マナーを身につけ、それを必ず実行し、交通事故のない、安全で明るく住みよいまちづくりを進めましょう。

夏の疲れの出る秋口は、ドライバーにとっても要注意です。交通事故による死者もことしは増加ぎみ。例年、過労による交通死亡事故はスピードの出し過ぎ、わき見運転、酒酔い運転に次いで第四位を占めています。

秋はまた行楽のシーズン。家族そろってドライブをする機会も多く、とくに大黒柱のご主人は夏の疲れをおして、行楽のコンダクター兼ドライバーとして大活躍しなければなりません。

過労運転による事故を起こさないよう、くれぐれもご用心。

過労は――重大事故を起こす

病気で高熱の人が自動車を運転したら――考えただけでゾッとします。

過労は、熱やセキこそ出ませんが、ドライバーにとっては病気そのものと 考えて いいでしょう。

熱が出ると、思考力や判断力が急速に失われていきますが、過労も同じで、思考力、判断力がにぶり、とっさのことに対応できなくなります。つまり、過労運転は恐ろしい交通事故と背中合わせなのです。

ところで、疲労には大きく分けて肉体疲労と精神疲労とがあります。肉体疲労は、身体を激しく動かしたり、スポーツをした時などの疲労で、体を休めることでとれます。

精神的な疲労は、心のわだかまり、心配ごとなどが原因で、体を休めるだけでなかなか疲れはとれません。

このような二種類の疲労が複雑に重なり合って、過労となるのです。

昭和五十五年中に起きた過労運転による交通事故は約五千件で、その直接原因のほとんどが居眠り。つまり、過労からついウトウトして、重大な事故をひき起こすというわけです。

とくに夏の終わりから秋にかけては、疲れが出て体調をくずしやすい時期です。安全運転を心がけましょう。

家を買うときのチェックポイント

大半の人にとって一生に一度の大事な買物。慎重に契約しましょう。市の建設課、法律の専門家 に相談することも 必要です。

◇物件を決める前に必ず調べておく事柄

広告に、必要な事項が表示されているか…広告主の住所・氏名・免許番号・物件所在地・価格・権利関係・地目（田・畑は要注意）など。

業者を調べる…県の担当課で「宅地建物取引業者名簿」を閲覧すれば、経歴や業績のあらまし がわかります。また当該物件について、その業者が売り主であるのか、売り主の代理人か、仲介者かによって契約上の権利関係や手数料が違いますから確認が必要。

自分で現地を見て登記簿を調べる…物件所在地の登記所で、土地と建物それぞれの公図と登記簿を閲覧し、面積・地目・権利関係（所有権・地上権・抵当権など）を調べます。抵当権や借地権が設定された土地を知らずに買うのはとかくトラブルのもとです。

現地や物件を自分の目で確かめることもたいせつです。

法律による 建築制限 を調べる…建築基準法による建ぺい率や高度制限はどうか。都市計画法の計画道路にかかっていないかなど。市街化調整区域であれば、原則として家は建てられません。

物件説明書をもらい内容を点検…業者の所で、資格を持った宅地建物取引主任の話を聞きます。この時物件に関する重要事項を記した「物件説明書」を必ずもらい、記載事項が正しいかどうか調べます。建築確認通知書・工事完了検査証明書（完成物件の場合）の写しをもらい、違反建築 でないかも 確かめます。売り主は、修理や増改築に必要な「工事しゅん工図書」を建物引渡し後速やかに購入者に渡す義務があります。

◇契約時―ハンを押す前に確かめること

契約書をよく読む…物件・金額・支払い時期・手付金は解約手付か否か・解除の条件と損害賠償規定・瑕疵担保責任が明記されているかなどをチェックの上、記入なきときは必ず契約書に記入し、業者の訂正印を押させます。

業者自身が売り主のときは特別の制限がある…契約解除に伴う損害賠償や違約金などの総額は代金の二十パーセントまで。これを超える分は無効。手付金はすべて解約手付。当事者の一方が 契約履行に着手 するまでは、買い主は 手付を放棄 して（売り主なら倍返し）契約を解除できます。瑕疵担保責任―隠れた欠点について最低二年は保証しなければならないことになっています。契約によってそれ以上にすることはいっこうに差しつかえありません。もし保証について何ら契約条項がない場合は、その欠点を発見してから一年以内に損害賠償や、使用に耐えない場合は解除を請求できることになっています。

◇未完成物件の売買契約をするときは

代金の五パーセントを超える手付金などを支払うときは、金融機関などの前受金保証書をもらうこと。万一の際、金融機関から直接返金してもらえます。

東西南北カメラ

◀長寿を祝って

市は九月十四日、九十歳以上のおとしより六十四人宅を訪問し、記念のシーツを贈って長寿を祝いました。六十四人の内訳は男二十一人、女四十三人。最高齢者は男性が黒木倉太さん（98歳＝ひまわり寮）、女性は関本ヤスさん（99歳＝細島）。

この日は宮本市長らが四班に分かれておとしよりを慰問しました。（写真は、市長から長寿の祝いを受ける矢北トメさん）

人命救助で表彰▶

市は九月一日人命救助の功績で日向市消防署の黒木繁昭士長（40歳）を表彰。定例課長会の席上、宮本市長から表彰状と記念品が贈られました。黒木士長は八月二日、細島の通称サンポウで釣りをしていた高鍋町の兄弟二人が、高波にのまれて海に転落したとの通報を受け出動。危険な海に飛び込み、約四十分後に兄さんの方を救助したものです。

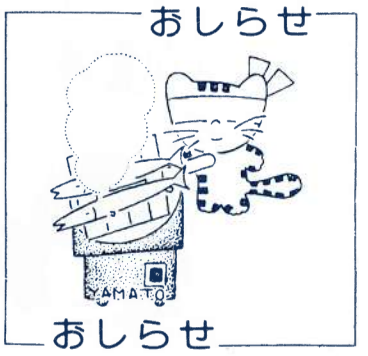
▼盛大に十五夜祭り

長年の伝統を持ち県北三大祭りの日向市恒例〝十五夜祭り〟は九月十一日から十三日までの三日間盛大に行われました。各区手作りの見立て細工やアイデアを凝らした飾り屋台、そして仮装舞踊隊などに市内外から訪れた延べ約十万人の観客は祭り気分を満喫。また、三人のミス十五夜やカラオケ大会にも人気が集まり、めずらしく好天に恵まれた十五夜祭りは三日間の幕をとじ、日向路に本格的な秋が訪れようとしています。

▲初の演奏会

日向混声合唱団（内山富士雄会長）は八月三十日夜、中央公民館で第一回定期演奏会を開きました。同合唱団は、五十三年十月に結成、翌五十四年一月に混声合唱団として正式に発足したもの です。同夜は 藤野弘義さん指揮により、混声合唱組曲「水のいのち」「山に祈る」などをひろう。美しいハーモニーがホールいっぱいの聴衆を魅了しました。

⊙市役所の代表電話番号は②２１１１です。★広報に載った"写真"をさしあげます。係までご連絡を。



休日休業にご協力を

給油所の休日休業は、石油消費節減対策の一環として昭和五十四年五月から実施されています。

これは、休日の不要不急のマイカードライブの自粛、ドライバーのエネルギー節約意識の定着などをはかり、一人一人に石油資源に対する節約意識をもってもらおう――というもの。

県では、この給油所休日休業のよりいっそうの徹底をはかるため、ことし六月に給油所代表、消費者代表、学識経験者で構成する「宮崎県給油所休日休業推進会議」を設置するとともに、県下に四十七人の調査指導員を配置して、月一回、休業の実情調査を実施しています。

給油所休日休業の効果をじゅうぶん確保するためには、関係業界のみなさんはもとより、市民のみなさまのご理解とご協力がとくに必要です。

限りある資源を確保するため市民のみなさんのご協力をお願いします。

二セ行政書士に注意

みなさんは行政書士がどんな仕事をしているかご存じでしょうか。

行政書士は、県庁、市町村役場、警察署、保健所などの官公庁に対して、みなさんが出す書類をみなさんに代って書類を作成し、提出代行、相談にも応じています。

ところで、行政書士の資格を持たない者（ニセ行政書士）が書類などを作成して、必要以上の作成手数料を取っている――という事例が、市内でも数多く起こっています。

とくに、交通事故などで示談や保険金の請求に、多額の金額を要求されたケースもたくさんあります。

このような被害を受けないためにも、資格を有するホンモノの行政書士に書類作成などを依頼し、正しい手数料を支払って安心できるように心がけてください。

返還手続きは早く

終戦後、外地から引き揚げてこられたかたが、上陸地の税関（海運局）などに預けられた通貨、証券などは、上陸地を所轄している税関が保管しています。

門司税関は、門司、博多、仙崎の各港で上陸されたかたの通貨、証券などを保管しており、これまでもこれらの早期返還に努めていますが、これまでに返還請求のないものが相当数残っています。

まだ、引き取りの済んでいない方は、早めに返還手続きをされるようお願いします。

返還の申し出は本人だけでなく、家族のかたでもけっこうですから、心あたりのかたは、郵便番号八〇一　北九州市門司区西海岸一丁目三番十号、門司港湾合同庁舎内・門司税関監視部、☎〇九三―三二一―三〇三一へお問い合わせください。

標語を募集

市は、障害者の住みよい街づくり推進事業の指定を記念して、障害者の福祉向上のため、〝何をなすべきか〟〝何ができるか〟について、標語をつぎのとおり募集します。

▽募集期限＝十月三十一日
▽募集内容＝障害者の福祉向上を願い、あるいは決意するもので、字数は三十字以内とし、未発表のものに限ります。
▽応募資格＝市内に住んでいるかた
▽募集方法＝官製ハガキに標語をたて書にし、氏名、住所、性別、年齢、職業（児童、生徒の場合には、学校名、学年）を明記してください。
▽応募と問い合わせ先＝市福祉事務所老人障害係（☎内線五六七）

無料人権相談

宮崎地方法務局人権擁護委員協議会は、十月に無料人権相談を行います。

理由なく無理を強いられたり人格を無視されたりして悩んでいるかたはいませんか。また、家庭内のいざこざの心配、その他一般の法律問題で苦しんでいるかたなど、この機会を利用してご相談ください。

▽相談日時と場所＝十月十二日（南日向公民館）、十月二十三日（中央公民館）。時間はいずれも午前十時から午後三時
▽費用＝無料
▽講座＝①カメラ入門、②速記講座（基礎から中級まで）
▽募集人員＝各三十人
▽期間＝十月から十二月まで（毎週一回、午後七時から）
▽申し込み方法＝はがきまたは電話で申し込むこと
▽締め切り＝九月三十日
▽申し込みと問い合わせ＝中央公民館（中町一番三十一号、☎③六八六七）へどうぞ

10月12日に振り込み

児童手当を支給しているかたへ振り込みのおしらせです。

十月支給（昭和五十六年六月から九月分）は、十月十二日にそれぞれみなさんの預金口座に振り込みます。次回のおしらせは一月号です。ご注意を！

児童手当については、市福祉事務所児童母子係（☎内線五六三）へおたずねください。

10月に民俗芸能大会

第十八回宮崎県民俗芸能大会が十月二十四日、午後一時から中央公民館ホールで開催されます。

日向市からは、美々津町地区に伝わる「美々津船おろし唄」と塩見地区に伝わる「塩見臼太鼓踊り」が出演します。

それでは、出演団体とプログラムをご紹介します。

▽祝いめでた（西米良村）▽神楽（西郷村）▽臼太鼓踊り（諸塚村）▽美々津船おろし唄（日向市）▽山法師おどり（椎葉村）▽いだごろ踊り（南郷村）▽安久節（都城市）▽塩見臼太鼓踊り（日向市）

市民のみなさんの多数の参加をお待ちしています。

交通災害共済に加入しましょう

みなさんは「交通災害共済」というのをご存じですか。

これは、交通事故による被害者を住民のみなさんの手で助け合う制度で、加入者のかたが万一交通事故にあったとき共済金を給付する、というものです。

わずか年額六百五十円で五十万円の保障。百万円まで加入ができます。

加入手続きなどくわしいことについては、市民相談室（☎内線五八三）へおたずねください。

優良従業員推せんしてください

市と日向商工会議所は、「日向市商工業優良従業員表彰実施要綱」に基づき、市内商工業の優良従業員の推せん受け付けを行います。

受付期間は十月一日から十月三十一日まで。推せん用紙は商工会議所、市商工水産課にあります。

推せん書の提出とお問い合わせは商工水産課（☎内線三五三）へどうぞ。

趣味の講座を開講

市中央公民館は、趣味の講座として〝カメラ入門〟と〝速記講座〟を開講します。

市内にお住まいのかたなら、どなたでも受講できます。みなさんの多数の参加をお待ちしています。

一歳六か月児検診 ↔ 母子健康手帳を忘れずに

十月の一歳六か月児の健康診査は、十月十五日の午後一時から中央公民館（中町、☎③六八六七）で行います。

対象幼児は、昭和五十五年四月一日から四月三十日までに生まれた子どもです。

明るい選挙 白ばらクイズ (56)

【問題】

立会演〇会は、公職の候〇者の政見を選挙人に周知させるため、都道府県の〇挙管理委員会が指定する市町村において開催することになっています。

▽右の〇にはどんな文字があてはまりますか？　答えをはがきに書いて、本町十番五号、市選挙管理委員会あて、十月十日までにお出しください。

正解者多数のときは、抽選で三人のかたに記念品をさしあげます。なお、はがきには住所、氏名、年齢、電話番号をはっきり記入してください。

先月号は「定」「参」「地」が正解で、応募三十三通、正解二十七通でしたので、つぎのかたに記念品をさしあげます。

（敬称略）

▽日高典子（財光寺三一三四）
▽黒木勝美（日知屋亀崎東）
▽黒木マサ子（木原団地）

あたたかいご寄付

日向市社会福祉協議会（☎②二五七二）

つぎのかたがたから香典返しとして社会福祉事業寄付金が寄せられました。ありがとうございました。

（敬称略）

▽桑野ヤス子（吉野川）▽甲斐マサノ（江良町）▽神宮司純男（公園通り）▽尾川トメヨ（永江町）▽小谷胸藤（東草場）▽赤木正義（松原）▽猪股定美（鶴町）▽浜砂スミ子（新財市）▽佐藤昇（中村）▽一政康（八幡）▽小田マサ子（江良町）▽黒木三千代（秋留）▽甲斐頼子（財光寺）▽和田ヤス子（比良）

以上八月分でした。

10月の休日在宅医

当番医が変更する場合もあります。テレフォンサービス（☎③1214）で確認を！

日	診療科目	病(医)院名	住所	電話
4	外・整外・胃腸・皮	千代田病院	鶴町	②７１１１
	産婦人科	柳田医院	都町	②２９５０
	内・放・精神科	田中病院	門川町	③１４４６
10	産婦・外・胃腸・放	二木医院	往還	④４４６８
	内・胃腸科	吉森医院	原町	②４０４６
	精神科	協和病院	往還	④２８０６
11	整形外科	鮫島医院	原町	②８１９１
	産婦人科	永田医院	鶴町	②３３８８
	内・小児科	田中医院	江良町	②２５１５
18	耳鼻・咽喉科	長田医院	原町	②０２６６
	産婦・内・外科	渡辺病院	笹野中	⑦１０１１
	内・放・小児科	白石病院	門川町	③１３６５
	内科	黒木医院	吉野川	②６０５５
25	産婦・肛門科	篠原医院	門川町	③１０５９
	内・放・小児科	山中医院	南町	②２２６６
	外・整外・胃腸科	此元医院	北町	②５４８８
	内・小児科	日向内科医院	原町	②２６００

★冠婚葬祭の簡素化にご協力を！（市区公連）

印刷　藤屋写真印刷株式会社
日向市本町七番十五号
電話（日向二代）（七一七）一番